

事 務 連 絡
令和 4 年 12 月 20 日

建設業団体の長 殿

国土交通省不動産・建設経済局建設業課長

再生資源利用（促進）計画の掲示様式について

日頃より、建設リサイクル行政に格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和 4 年 9 月 2 日に公布した資源有効利用促進法省令の一部改正（令和 5 年 1 月 1 日施行）において、再生資源利用（促進）計画を公衆の見えやすい場所に掲げることとしました。

この改正に伴い、国土交通省のホームページに掲載しております参考様式「再生資源利用[促進]計画様式（建設リサイクル報告様式兼用）」に、掲示様式を追加しましたのでお知らせいたします。

貴団体におかれましては、貴団体傘下の建設業者に対して周知いただくとともに、建設発生土等の適正処理に一層取り組まれますよう、指導を徹底する等、格段のご配慮を賜りたく、お願い申し上げます。

○国土交通省ホームページ公開場所

「再生資源利用[促進]計画様式（建設リサイクル報告様式兼用）」

(https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm)

○その他

現在、建設副産物情報交換システム（COBRIS）から掲示様式に必要な情報を転記できるようシステムを改修中。令和 5 年 3 月末頃を目処に利用可能となった段階で周知予定です。

- 省令改正で再生資源利用(促進)計画等を工事現場の公衆の見えやすい場所に掲載することとした
- これに伴い国土交通省のホームページで掲載している参考様式に**掲示様式を追加し公開**
- 現在、建設副産物情報交換システム(COBRIS)で、掲示様式に**必要情報が自動的に記入**されるようシステムを改修中(令和5年3月末頃、改修完了予定。利用可能となった段階で周知予定。)

【ホームページ公表の掲示様式】

再生資源利用促進計画書 ー現場掲示用ー

手入力が必要

1. 工事概要

発注者の商号、 名称又は氏名	法人番号	請負会社名	作成・更新年月日	令和	年	月	日
		会社所在地	TEL	工事責任者			

工事名	工事施工場所	工期	令和	年	月	日から
			令和	年	月	日まで

2. 建設副産物搬出計画

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③ 小数点第三位まで	現場内利用		現場外搬出について				再生資源 利用率 ②×④ ① (%)		
		②利用量 小数点第三位まで	③現場内 改良分 改良分 小数点第三位まで	搬出先名称	搬出先場所住所	搬出先の種類	③現場外搬出量 小数点第三位まで		④再生資源 利用促進量 うち現場内 改良分 小数点第三位まで	
コンクリート塊	0.000 トン	0.000	0.000	搬出先1			トン	トン	0.000 トン	0%
アスファルト コンクリート塊	0.000 トン	0.000	0.000	搬出先1			トン	トン	0.000 トン	0%
第一種 建設発生土	0.000 地山m ³	0.000	0.000	搬出先1			地山m ³	地山m ³	0.000地山m ³	0%
第二種 建設発生土	0.000 地山m ³	0.000	0.000	搬出先1			地山m ³	地山m ³	0.000地山m ³	0%
第三種 建設発生土	0.000 地山m ³	0.000	0.000	搬出先1			地山m ³	地山m ³	0.000地山m ³	0%
第四種 建設発生土	0.000 地山m ³	0.000	0.000	搬出先1			地山m ³	地山m ³	0.000地山m ³	0%
資源土以外の廃土 ※	0.000 地山m ³	0.000	0.000	搬出先1			地山m ³	地山m ³	0.000地山m ³	0%
資源土※ (建設予定を除く)	0.000 地山m ³	0.000	0.000	搬出先1			地山m ³	地山m ³	0.000地山m ³	0%

※ 発注者と協議し、必要に応じて記載

※既存の再生資源利用(促進)計画様式に掲示様式のシートを追加し、「発注者の商号、名称又は氏名」の記入を除き、既存様式に入力した内容が、掲示様式に自動的に転記される。

【ホームページ掲載先】

国土交通省ホーム> 政策・仕事> 総合政策> リサイクル> 建設リサイクル推進施策 情報交換システム> 建設リサイクル報告様式

URL: https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

再生資源利用[促進]計画様式（建設リサイクル報告様式兼用） 記入時の注意事項と機能について

令和4年度
国土交通省

再生資源利用[促進]計画様式記入時の注意事項と付与している機能について説明します。

- ・ 1工事1ファイルの作成が必要です。複数工事を記入することはできません。
- ・ 「建設業に属する事業を行う者の再生資源の利用に関する判断の基準となるべき事項を定める省令（再生資源省令）の一部改正（令和4年9月 不動産・建設経済局建設業課）」第7条、第8条に関する現場掲示様式については、当該エクセルファイルのシート「現場掲示様式」をご活用ください。

【注意事項】

1. 背景の色について

- 黄緑色・・・プルダウンによる選択項目
 - 薄黄色・・・記入項目
 - 赤色・・・記入または選択が必須の項目
- 赤色が残らないよう作成してください。

2. 建設資材利用計画

建設資材（新材を含む全体の利用状況）				
分類	小分類 コード*5	規格	主な利用用途 コード*6	利用量(A) 小数点第三位まで
コンクリート	3.薄コ(M)	JIS A 5022		トン
				トン
				0.000 トン

2. シートについて

シート「1枚目」からご記入ください。

資材の供給元や建設副産物の搬出先が複数あり、シート「1枚目」で足りない場合は、シート「2枚目」以降をご利用ください。

※シート「2枚目」以降は必要に応じて記載するもので、必ず記載しなければならないものではありません。

※各品目の利用量・搬出量等の合計はシート「2枚目」以降の分もシート「1枚目」で合算表示されます。

3. エクセル機能の制限

建設リサイクル報告様式は、行の追加等の機能を制限しています。

※ロック解除等はできません。

【機能】

4. 住所コード確認機能（画面上部の印刷範囲外）

資材供給元住所、副産物搬出先住所のコードを確認するためのプルダウンメニューです。

都道府県の▼をクリックして該当の都道府県を選択してから、市区町村の▼をクリックして該当の市区町村を選択すると、「住所コード」欄に対応する5桁のコードが表示されます。

資材供給元住所、副産物搬出先住所の住所コード*4は以下のプルダウンリストで都道府県、市区町村を選択し、表示された住所コード（5桁）を入力してください。

都道府県：

市区町村：

住所コード

表示されたコードを確認し、所定の住所コード入力欄に入力してください。

※各欄の「住所コード」は必ず入力してください。

5. 発注機関選択機能

1. 工事概要の「発注機関」は、3段階の絞り込みによる対象機関の選択を行うようになっています。

まず、大分類の▼をクリックして選択し、「発注機関コード」に対象のコードが表示されるまで、中分類、小分類の順に選択してください。

1. 工事概要 (赤黄色セルは必須入力箇所です。)

大分類	▼	発注担当者チェック欄
中分類	▼	発注機関コード
小分類	▼	担当者
		TEL

6. 法人番号照会機能

法人番号 <http://www.houjin-bangounta.go.jp/>

請負会社の法人番号を入力する欄の右側に国税庁のホームページを開くためのリンクを付与してあります。インターネットに接続しているパソコンの場合、国税庁のURLをクリックすると、法人番号が検索できる国税庁のサイトを開きますので、自社の番号が不明の場合は、ご利用ください。

※法人番号を取得していない個人事業者等は記入不要です。赤色のまま提出してください。

国税庁HP= <http://www.houjin-bangou.nta.go.jp>

7. 工事施工場所選択機能

工事施工場所 ▼ ▼ ▼ 住所コード

左の▼をクリックして該当の都道府県を選択してから、右の▼をクリックして該当の市区町村を選択すると、「住所コード」欄に5桁のコードが入力されます。

薄黄色の箇所には地名地番を記入してください。

1.工事概要

(赤着色セルは必須入力箇所です。)

発注担当者チェック欄, 発注機関コード, 法人番号, 請負会社名, 建設業許可の場合, 解体工事業登録の場合, 会社所在地, TEL, E-mail, 記入年月日, 工事責任者, 調査票記入者

工事名, 工事施工場所, 工事概要等, 工種を選択, 工事種別コード*3, 請負金額, 工期, 左記金額のうち特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用, 建築面積, 延床面積, 構造, 用途, 階数, 地上階, 地下階

2.建設資材利用計画

建設資材 (新材を含む全体の利用状況), 左記のうち、再生資材の利用状況 (再生資材を利用した場合に記入して下さい), 再生資源利用率 B/A x 100

- コード*5 コンクリートについて, 再生生コン(Co再生骨材H), 再生生コン(Co再生骨材M), 再生生コン(その他再生材), 無筋コンクリート二次製品(リユース品), 有筋コンクリート二次製品(その他再生材), 有筋コンクリート二次製品(リユース品), 再生有筋コンクリート二次製品(Co再生骨材), その他

- コード*6 アスファルト・コンクリートについて, 表層, 基層, 上層路盤, 歩道, その他(駐車場舗装、敷地内舗装等), 道路路体, 路床, 河川築堤, 構造物等の裏込材、埋戻し用, 宅地造成用, 水面埋立用, ほ場整備(農地整備), その他

- コード*7 コンクリートについて, 再生生コン(Co再生骨材H), 再生生コン(Co再生骨材M), 再生生コン(Co再生骨材L), 再生生コン(その他再生材), 無筋コンクリート二次製品(リユース品), 再生無筋コンクリート二次製品(Co再生骨材), 再生有筋コンクリート二次製品(その他再生材), その他

- コード*8 再生資材の供給元について, 現場内利用, 他の工事現場(内陸), 他の工事現場(海面), 再資源化施設, 土砂ストックヤード, その他

1.工事概要

表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

2.建設副産物搬出計画

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第三位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用促進率	
		現場内利用		減量化		搬出先名称		搬出先場所住所		④現場外搬出量		⑤再生資源利用促進量		②+③+⑤ ① (%)			
場外搬出時の性状	用途コード*10	②利用量 小数点第三位まで	③現場内改良分 小数点第三位まで	④減量化量 小数点第三位まで	2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。	区分	住所コード*4	運搬距離 千 百 十 一	搬出先の種類 コード*13	④現場外搬出量 小数点第三位まで	うち現場内改良分 小数点第三位まで	⑤再生資源利用促進量	②+③+⑤ ① (%)				
資材廃棄物	コンクリート塊	0.000 トン									0.000 トン		0.000 トン	0 %			
	建設発生木材A (柱、ボードなど木製資材が廃棄物となったもの)	0.000 トン										0.000 トン		0 %			
	アスファルト・コンクリート塊	0.000 トン										0.000 トン		0 %			
建設廃棄物	その他がれき類	0.000 トン										0.000 トン		0 %			
	建設発生木材B (立木、障材材などが廃棄物となったもの)	0.000 トン										0.000 トン		0 %			
	建設汚泥	0.000 トン										0.000 トン		0 %			
	金属くず	0.000 トン										0.000 トン		0 %			
	廃塩化ビニル管・継手	0.000 トン										0.000 トン		0 %			
	廃プラスチック (廃塩化ビニル管・継手を除く)	0.000 トン										0.000 トン		0 %			
	廃石膏ボード	0.000 トン										0.000 トン		0 %			
	紙くず	0.000 トン										0.000 トン		0 %			
	アスベスト (飛散性)	0.000 トン										0.000 トン		0 %			
	その他の分別された廃棄物	0.000 トン										0.000 トン		0 %			
	混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	0.000 トン										0.000 トン		0 %			
	建設発生土	第一種建設発生土	0.000 地山m ³									0.000 地山m ³		0.000 地山m ³	0 %		
第二種建設発生土		0.000 地山m ³									0.000 地山m ³		0.000 地山m ³	0 %			
第三種建設発生土		0.000 地山m ³									0.000 地山m ³		0.000 地山m ³	0 %			
第四種建設発生土		0.000 地山m ³									0.000 地山m ³		0.000 地山m ³	0 %			
浚渫土以外の泥土		0.000 地山m ³									0.000 地山m ³		0.000 地山m ³	0 %			
浚渫土 (建設汚泥を除く)		0.000 地山m ³									0.000 地山m ³		0.000 地山m ³	0 %			
合計		0.000 地山m ³									0.000 地山m ³		0.000 地山m ³	0 %			

コード*10
1.路盤材 2.裏込材
3.埋戻し材
4.その他

コード*11
1.焼却 2.脱水
3.天日乾燥
4.その他

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード*13
【建設廃棄物の場合】
1.売却
2.他の工事現場
3.広域認定制度による処理
4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)
5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)
6.中間処理施設(サーマルリサイクル)
7.中間処理施設(単純焼却)
8.廃棄物最終処分場(海面処分場)
9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)

【建設発生土の場合】
1.売却
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
4.土質改良プラント
5.工事予定地・仮置場・ストックヤード
(再利用の目的がある場合)
6.工事予定地・仮置場・ストックヤード
(再利用の目的がない場合)
7.採石場・砂利採取跡地等復旧事業
8.廃棄物最終処分場(覆土としての受入)
9.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入)
10.土捨場・残土処分場

注記
・ 一般廃棄物は記入しないで下さい。
・ 土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

※ 6.9,10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。

様式1 再生資源利用実施書 ー建設資材搬入工事用ー「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第18条再資源化報告」対応版ー

1. 工事概要

(赤着色セルは必須入力箇所です。)

発注担当者チェック欄, 発注機関コード, 法人番号, 請負会社名, 建設業許可の場合, 解体工事業登録の場合, 会社所在地, TEL, Email, 記入年月日, 工事責任者, 調査票記入者

工事名, 工事施工場所, 工事概要等, 工種を選択, 工事種別コード*3, 請負金額, 工期, 再資源化等が完了した年月日, 建築面積, 延床面積, 構造, 用途, 階数, 地上, 地下

2. 建設資材利用実施

Table with columns: 建設資材 (新材を含む全体の利用状況), 左記のうち、再生資材の利用状況 (再生資材を利用した場合に記入して下さい), 再生資源利用状況. Includes sub-tables for 特定建設資材 and その他の建設資材.

- コード*5: コンクリートについて, コンクリート及び鉄から成る建設資材について, 木材について, アスファルト・コンクリートについて, 土砂について, 砕石について, 塩化ビニル管・継手について, 石膏ボードについて, その他の建設資材について

- コード*6: アスファルト・コンクリートについて, 土砂について, 砕石について, 塩化ビニル管・継手について, 石膏ボードについて, その他の建設資材について

- コード*7: コンクリートについて, コンクリート及び鉄から成る建設資材について, 木材について, アスファルト・コンクリートについて, 土砂について, 砕石について

- コード*8: 再生資材の供給元について, 現場内利用, 他の工事現場(内陸), 他の工事現場(海面), 再資源化施設, 土砂ストックヤード, その他

- コード*9: 施工条件について, 1.再生材の利用の指示あり, 2.再生材の利用の指示なし

※解体工事については、建築面積をご記入いただくなくても結構です。

1. 工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

2. 建設副産物搬出実施

Table with columns: 建設副産物の種類, 発生量, 現場内利用・減量, 現場外搬出について, 再生資源利用促進率. Rows include categories like 資材廃棄物, 建設廃棄物, 建設発生土.

注記: 一般廃棄物は記入しないで下さい。 土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。 建設発生土の場合の10項目の処理方法リスト。

※ 6.9.10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。

様式1・イ 再生資源利用計画書 ー建設資材搬入工事に用ー「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第11条通知別表」対応版ー

2枚目

2.建設資材利用計画

Main table with columns: 建設資材 (新材を含む全体の利用状況), 左記のうち、再生資材の利用状況 (再生資材を利用した場合に記入して下さい), 再生資源利用率. Rows include categories like 特定建設資材 (Concrete, Wood, Asphalt) and その他の建設資材 (Sand, Gravel, etc.).

コード*5
コンクリートについて
1.生コン(バージン骨材)
2.再生生コン(Co再生骨材H)
3.再生生コン(Co再生骨材M)
4.再生生コン(Co再生骨材L)
5.再生生コン(その他再生材)
6.無筋コンクリート二次製品(リユース品)
7.無筋コンクリート二次製品(その他再生材)
8.再生無筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)
9.再生無筋コンクリート二次製品(その他再生材)
10.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品(バージン骨材)
2.有筋コンクリート二次製品(リユース品)
3.再生有筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)
4.再生有筋コンクリート二次製品(その他再生材)
5.その他
木材について
1.木材(ボード類を除く)
2.木質ボード
アスファルト・コンクリートについて
1.粗粒度アスコン
2.密粒度アスコン
3.細粒度アスコン
4.開粒度アスコン
5.改質アスコン
6.アスファルトモルタル
7.加熱アスファルト安定処理路盤材
8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土
2.第二種建設発生土
3.第三種建設発生土
4.第四種建設発生土
5.浚渫土以外の泥土
6.浚渫土
7.土質改良土
8.建設汚泥処理土
9.再生コンクリート砂
10.山砂、山土などの新材(採取土、購入土)
砕石について
1.クラッシャーラン
2.粒度調整砕石
3.鉱さい
4.単粒度砕石
5.ぐり石、割ぐり石、自然石
6.その他
塩化ビニル管・継手について
1.硬質塩化ビニル管
2.その他
石膏ボードについて
1.石膏ボード
2.シーリング石膏ボード
3.強化石膏ボード
4.化粧石膏ボード
5.石膏ラスボード
6.その他
その他の建設資材について
(利用量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい)

コード*6
アスファルト・コンクリートについて
1.表層
2.基層
3.上層路盤
4.歩道
5.その他(駐車場舗装、敷地内舗装等)
土砂について
1.道路路体
2.路床
3.河川築堤
4.構造物等の裏込材、埋戻し用
5.宅地造成用
6.水面埋立用
7.ほ場整備(農地整備)
8.水面埋立用
8.その他
砕石について
1.舗装の下層路盤材
2.舗装の上層路盤材
3.構造物の裏込材、基礎材
4.その他
塩化ビニル管・継手について
1.水道(配水)用
2.下水道用
3.ケブル用
4.農業用
5.設備用
6.その他
石膏ボードについて
1.壁
2.天井
3.その他
その他の建設資材について
(利用用途を具体的に記入して下さい)

コード*7
コンクリートについて
1.再生生コン(Co再生骨材H)
2.再生生コン(Co再生骨材M)
3.再生生コン(Co再生骨材L)
4.再生生コン(その他再生材)
5.無筋コンクリート二次製品(リユース品)
6.再生無筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)
7.再生無筋コンクリート二次製品(その他再生材)
8.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品(リユース品)
2.再生有筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)
3.再生有筋コンクリート二次製品(その他再生材)
4.その他
木材について
1.再生木材(ボード類を除く)
2.再生木質ボード
アスファルト・コンクリートについて
1.再生粗粒度アスコン
2.再生密粒度アスコン
3.再生細粒度アスコン
4.再生開粒度アスコン
5.再生改質アスコン
6.再生アスファルトモルタル
7.再生加熱アスファルト安定処理路盤材
8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土
2.第二種建設発生土
3.第三種建設発生土
4.第四種建設発生土
5.浚渫土以外の泥土
6.浚渫土
7.土質改良土
8.建設汚泥処理土
9.再生コンクリート砂
砕石について
1.再生クラッシャーラン
2.再生粒度調整砕石
3.鉱さい
4.その他
塩化ビニル管・継手について
1.再生硬質塩化ビニル管
2.その他
その他の建設資材について
(利用量の多い上位2品目の再生資材名称を具体的に記入して下さい)

コード*8
再生資材の供給元について
1.現場内利用
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
4.再資源化施設
5.土砂ストックヤード
6.その他

コード*9
施工条件について
1.再生材の利用の指示あり
2.再生材の利用の指示なし

2枚目

1.工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

2.建設副産物搬出計画

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第三位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用促進率 ②+③+⑤ ① (%)
		現場内利用		減量化		搬出先名称		区分	施工条件の内容 コード*12	搬出先場所住所		搬出先の種類 コード*13	④現場外搬出量		⑤再生資源利用促進量	
		用途コード*10	②利用量 小数点第三位まで	③減量化 コード*11	④減量化量 小数点第三位まで	2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。	住所コード*4			運搬距離 千 百 十	④現場外搬出量 小数点第三位まで		うち現場内改良分 小数点第三位まで			
資材廃棄物 特定建設	コンクリート塊	トン	トン	トン		搬出先1					km	トン	トン	トン	%	
	建設発生木材A (注:ボードなど木製資材が廃棄物となったもの)	トン	トン	トン		搬出先1					km	トン		トン	%	
	アスファルト・コンクリート塊	トン	トン	トン		搬出先1					km	トン	トン	トン	%	
	その他がれき類	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
建設廃棄物	建設発生木材B (立木、除根材などが廃棄物となったもの)	トン	トン	トン		搬出先1					km	トン		トン	%	
	建設汚泥	トン	トン	トン	トン	搬出先1					km	トン	トン	トン	%	
	金属くず	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	廃塩化ビニル管・継手	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	廃プラスチック (廃塩化ビニル管・継手を除く)	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	廃石膏ボード	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	紙くず	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	アスベスト (飛散性)	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	その他の分別された廃棄物	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	建設発生土	第一種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	0.000 地山m ³	地山m ³	%
		第二種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	0.000 地山m ³	地山m ³	%
第三種建設発生土		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
第四種建設発生土		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
浚渫土以外の泥土		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
浚渫土 (建設汚泥を除く)		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
合計		地山m ³	地山m ³	地山m ³							km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	

コード*10
1.路盤材 2.裏込材
3.埋戻し材 4.その他

コード*11
1.焼却 2.脱水
3.天日乾燥 4.その他

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード*13
建設廃棄物の場合
1.売却
2.他の工事現場
3.広域認定制度による処理
4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)
5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)
6.中間処理施設(サーマルサイクル)
7.中間処理施設(単純焼却)
8.廃棄物最終処分場(海面処分場)
9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)

建設発生土の場合
1.売却
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
ただし、廃棄物最終処分場を除く
4.土質改良プラント
5.工事予定地・仮置場・ストックヤード
(再利用の目的がある場合)
6.工事予定地・仮置場・ストックヤード
(再利用の目的がない場合)
7.採石場・砂利採取跡地等復旧事業
8.廃棄物最終処分場(覆土としての受入)
9.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入)
10.土捨場・残土処分場

注記
・一般廃棄物は記入しないで下さい。
・土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

※ 6.9.10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。

様式1 再生資源利用実施書 ー建設資材搬入工事用ー「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第18条再資源化報告」対応版ー

2枚目

2.建設資材利用実施

Main table with columns: 建設資材 (新材を含む全体の利用状況), 左記のうち、再生資材の利用状況 (再生資材を利用した場合に記入して下さい), 再生資源利用率. Rows include categories like 特定建設資材 (Concrete, Wood, Asphalt) and その他の建設資材 (Sand, Gravel, etc.).

- コード*5: コンクリートについて (生コン, 再生生コン, etc.), コンクリート及び鉄から成る建設資材について (有筋コンクリート二次製品, etc.), 木材について (木材(ボード類を除く), 木質ボード), アスファルト・コンクリートについて (粗粒度アスコン, etc.), 土砂について (第一種建設発生土, etc.), 砕石について (クラッシャーラン, etc.), 塩化ビニル管・継手について (硬質塩化ビニル管, etc.), 石膏ボードについて (石膏ボード, etc.), その他の建設資材について (利用量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい)

- コード*6: アスファルト・コンクリートについて (表層, 基層, etc.), 土砂について (道路路体, etc.), 砕石について (舗装の下層路盤材, etc.), 塩化ビニル管・継手について (水道(配水)用, etc.), 石膏ボードについて (壁, 天井, etc.), その他の建設資材について (利用用途を具体的に記入して下さい)

- コード*7: コンクリートについて (再生生コン, etc.), コンクリート及び鉄から成る建設資材について (有筋コンクリート二次製品, etc.), 木材について (再生木材(ボード類を除く), etc.), アスファルト・コンクリートについて (再生粗粒度アスコン, etc.), 土砂について (第一種建設発生土, etc.), 砕石について (再生クラッシャーラン, etc.), 塩化ビニル管・継手について (再生硬質塩化ビニル管, etc.), その他の建設資材について (利用量の多い上位2品目の再生資材名称を具体的に記入して下さい)

- コード*8: 再生資材の供給元について (現場内利用, etc.), 再生資材の供給元住所住所 (住所コード*4)

- コード*9: 施工条件について (再生材の利用の指示あり, etc.)

様式2 再生資源利用促進実施書 ー建設副産物搬出工事用ー

2枚目

1.工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

2.建設副産物搬出実施

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第三位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用促進率 ②+③+⑤ ① (%)
		現場内利用		減量化		搬出先名称		区分	施工条件の内容 コード*12	搬出先場所住所		搬出先の種類 コード*13	④現場外搬出量		⑤再生資源利用促進量	
		用途 コード*10	②利用量 小数点第三位まで	③減量化 コード*11	④減量化量 小数点第三位まで	2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。	住所コード*4			運搬距離 千 百 十	④現場外搬出量 小数点第三位まで		うち現場内改良分 小数点第三位まで			
資材廃棄物 特定建設	コンクリート塊	トン	トン	トン		搬出先1					km	トン	トン	トン	%	
	建設発生木材A (注:ボードなど木製資材が廃棄物となったもの)	トン	トン	トン		搬出先1					km	トン		トン	%	
	アスファルト・コンクリート塊	トン	トン	トン		搬出先1					km	トン	トン	トン	%	
	その他がれき類	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
建設廃棄物	建設発生木材B (立木、除根材などが廃棄物となったもの)	トン	トン	トン		搬出先1					km	トン		トン	%	
	建設汚泥	トン	トン	トン	トン	搬出先1					km	トン	トン	トン	%	
	金属くず	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	廃塩化ビニル管・継手	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	廃プラスチック (廃塩化ビニル管・継手を除く)	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	廃石膏ボード	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	紙くず	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	アスベスト (飛散性)	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	その他の分別された廃棄物	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	建設発生土	第一種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
		第二種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
第三種建設発生土		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
第四種建設発生土		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
浚渫土以外の泥土		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
浚渫土 (建設汚泥を除く)		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
合計		地山m ³	地山m ³	地山m ³							km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	

コード*10
1.路盤材 2.裏込材
3.埋戻し材 4.その他

コード*11
1.焼却 2.脱水
3.天日乾燥 4.その他

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード*13
建設廃棄物の場合
1.売却
2.他の工事現場
3.広域認定制度による処理
4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)
5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)
6.中間処理施設(サーマルリサイクル)
7.中間処理施設(単純焼却)
8.廃棄物最終処分場(海面処分場)
9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)

建設発生土の場合
1.売却
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
ただし、廃棄物最終処分場を除く
4.土質改良プラント
5.工事予定地・仮置場・ストックヤード
(再利用の目的がある場合)
6.工事予定地・仮置場・ストックヤード
(再利用の目的がない場合)
7.採石場・砂利採取跡地等復旧事業
8.廃棄物最終処分場(覆土としての受入)
9.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入)
10.土捨場・残土処分場

注記
・一般廃棄物は記入しないで下さい。
・土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

※ 6.9.10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。

様式1・イ 再生資源利用計画書 ー建設資材搬入工事に用ー「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第11条通知別表」対応版ー

3枚目

2.建設資材利用計画

Main table with columns: 建設資材 (新材を含む全体の利用状況), 左記のうち、再生資材の利用状況 (再生資材を利用した場合に記入して下さい), 再生資源利用率. Rows include categories like 特定建設資材 (Concrete, Wood, Asphalt) and その他の建設資材 (Sand, Gravel, etc.).

コード*5
コンクリートについて
1.生コン(バージン骨材)
2.再生生コン(Co再生骨材H)
3.再生生コン(Co再生骨材M)
4.再生生コン(Co再生骨材L)
5.再生生コン(その他再生材)
6.無筋コンクリート二次製品(リユース品)
7.無筋コンクリート二次製品(その他再生材)
8.再生無筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)
9.再生無筋コンクリート二次製品(その他再生材)
10.その他

コード*6
アスファルト・コンクリートについて
1.表層 2.基層
3.上層路盤 4.歩道
5.その他(駐車場舗装、敷地内舗装等)
土砂について
1.道路路体 2.路床 3.河川築堤
4.構造物等の裏込材、埋戻し用
5.宅地造成用 6.水面埋立用
7.ほ場整備(農地整備)
8.その他

コード*7
コンクリートについて
1.再生生コン(Co再生骨材H)
2.再生生コン(Co再生骨材M)
3.再生生コン(Co再生骨材L)
4.再生生コン(その他再生材)
5.無筋コンクリート二次製品(リユース品)
6.再生無筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)
7.再生無筋コンクリート二次製品(その他再生材)
8.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品(リユース品)
2.再生有筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)
3.再生有筋コンクリート二次製品(その他再生材)
4.その他

コード*8
再生資材の供給元について
1.現場内利用
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
4.再資源化施設
5.土砂ストックヤード
6.その他

コード*9
施工条件について
1.再生材の利用の指示あり
2.再生材の利用の指示なし

3枚目

1.工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

2.建設副産物搬出計画

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第三位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用促進率 ②+③+⑤ ① (%)	
		現場内利用		減量化		搬出先名称		区分	施工条件の内容 コード*12	搬出先場所住所		搬出先の種類 コード*13	④現場外搬出量		⑤再生資源利用促進量		
		用途コード*10	②利用量 小数点第三位まで	③うち現場内改良分 小数点第三位まで	減量法コード*11	③減量化量 小数点第三位まで	2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。			住所コード*4	運搬距離 千 百 十		④現場外搬出量 小数点第三位まで	うち現場内改良分 小数点第三位まで			
資材廃棄物 特定建設	コンクリート塊	トン	トン	トン		搬出先1					km		トン	トン	トン	%	
	建設発生木材A (柱、ボードなど木製資材が廃棄物となったもの)	トン	トン	トン		搬出先1					km		トン	トン	トン	%	
	アスファルト・コンクリート塊	トン	トン	トン		搬出先1					km		トン	トン	トン	%	
	その他がれき類	トン				搬出先1						km		トン		トン	%
建設廃棄物	建設発生木材B (立木、除根材などが廃棄物となったもの)	トン	トン	トン		搬出先1					km		トン		トン	%	
	建設汚泥	トン	トン	トン	トン	搬出先1					km		トン	トン	トン	%	
	金属くず	トン				搬出先1					km		トン		トン	%	
	廃塩化ビニル管・継手	トン				搬出先1					km		トン		トン	%	
	廃プラスチック (廃塩化ビニル管・継手を除く)	トン				搬出先1					km		トン		トン	%	
	廃石膏ボード	トン				搬出先1					km		トン		トン	%	
	紙くず	トン				搬出先1					km		トン		トン	%	
	アスベスト (飛散性)	トン				搬出先1					km		トン		トン	%	
	その他の分別された廃棄物	トン				搬出先1					km		トン		トン	%	
	混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	トン				搬出先1					km		トン		トン	%	
	建設発生土	第一種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
		第二種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
第三種建設発生土		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
第四種建設発生土		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
浚渫土以外の泥土		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
浚渫土 (建設汚泥を除く)		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
合計		地山m ³	地山m ³	地山m ³									地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	

コード*10
1.路盤材 2.裏込材
3.埋戻し材 4.その他

コード*11
1.焼却 2.脱水
3.天日乾燥 4.その他

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード*13
建設廃棄物の場合
1.売却
2.他の工事現場
3.広域認定制度による処理
4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)
5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)
6.中間処理施設(サーマルサイクル)
7.中間処理施設(単純焼却)
8.廃棄物最終処分場(海面処分場)
9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)

建設発生土の場合
1.売却
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
ただし、廃棄物最終処分場を除く
4.土質改良プラント
5.工事予定地・仮置場・ストックヤード
(再利用の目的がある場合)
6.工事予定地・仮置場・ストックヤード
(再利用の目的がない場合)
7.採石場・砂利採取跡地等復旧事業
8.廃棄物最終処分場(覆土としての受入)
9.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入)
10.土捨場・残土処分場

注記
・一般廃棄物は記入しないで下さい。
・土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

※ 6.9.10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。

様式1 再生資源利用実施書 ー建設資材搬入工事用ー「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第18条再資源化報告」対応版ー

3枚目

2.建設資材利用実施

建設資材 (新材を含む全体の利用状況)					左記のうち、再生資材の利用状況 (再生資材を利用した場合に記入して下さい)					再生資源	
分類	小分類 コード*5	規格	主な利用用途 コード*6	利用量(A) 小数点第三位まで	再生資材の名称 コード*7	再生資材利用量(B) 小数点第三位まで	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元 種類 コード*8	施工条件 内容 コード*9	再生資材の供給元場所住所 住所コード*4	利用率 B/A×100
特定建設資材	コンクリート			トン		トン					0 %
				トン		トン					0 %
		合計		トン		トン					%
	コンクリート及び鉄から成る建設資材			トン		トン					0 %
				トン		トン					0 %
		合計		トン		トン					%
	木材			トン		トン					0 %
				トン		トン					0 %
		合計		トン		トン					%
	アスファルト・コンクリート			トン		トン					0 %
			トン		トン					0 %	
	合計		トン		トン					%	
その他の建設資材	土砂			締めm ³		締めm ³					0 %
				締めm ³		締めm ³					0 %
		合計		締めm ³		締めm ³					%
	砕石			m ³		m ³					0 %
				m ³		m ³					0 %
		合計		m ³		m ³					%
	塩化ビニル管・継手			トン		トン					0 %
				トン		トン					0 %
		合計		トン		トン					%
	石膏ボード			トン		トン					0 %
			トン		トン					0 %	
	合計		トン		トン					%	
その他の建設資材			トン		トン					0 %	
			トン		トン					0 %	
	合計		トン		トン					%	

コード*5
コンクリートについて
1.生コン(バージン骨材) 2.再生生コン(Co再生骨材H) 3.再生生コン(Co再生骨材M) 4.再生生コン(Co再生骨材L) 5.再生生コン(その他再生材) 6.無筋コンクリート二次製品(バージン骨材) 7.無筋コンクリート二次製品(リユース品) 8.再生無筋コンクリート二次製品(Co再生骨材) 9.再生無筋コンクリート二次製品(その他再生材) 10.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品(バージン骨材) 2.有筋コンクリート二次製品(リユース品) 3.再生有筋コンクリート二次製品(Co再生骨材) 4.再生有筋コンクリート二次製品(その他再生材) 5.その他
木材について
1.木材(ボード類を除く) 2.木質ボード
アスファルト・コンクリートについて
1.粗粒度アスコン 2.密粒度アスコン 3.細粒度アスコン 4.開粒度アスコン 5.改質アスコン 6.アスファルトモルタル 7.加熱アスファルト安定処理路盤材 8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土 4.第四種建設発生土 5.浚渫土以外の泥土 6.浚渫土 7.土質改良土 8.建設汚泥処理土 9.再生コンクリート砂 10.山砂、山土などの新材(採取土、購入土)
砕石について
1.クラッシャーラン 2.粒度調整砕石 3.鉱さい 4.単粒度砕石 5.ぐり石、割ぐり石、自然石 6.その他
塩化ビニル管・継手について
1.硬質塩化ビニル管 2.その他
石膏ボードについて
1.石膏ボード 2.シーリング石膏ボード 3.強化石膏ボード 4.化粧石膏ボード 5.石膏ラスボード 6.その他
その他の建設資材について
(利用量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい)

コード*6
アスファルト・コンクリートについて
1.表層 2.基層 3.上層路盤 4.歩道 5.その他(駐車場舗装、敷地内舗装等)
土砂について
1.道路路体 2.路床 3.河川築堤 4.構造物等の裏込材、埋戻し用 5.宅地造成用 6.水面埋立用 7.ほ場整備(農地整備) 8.その他
砕石について
1.舗装の下層路盤材 2.舗装の上層路盤材 3.構造物の裏込材、基礎材 4.その他
塩化ビニル管・継手について
1.水道(配水)用 2.下水道用 3.ケーブル用 4.農業用 5.設備用 6.その他
石膏ボードについて
1.壁 2.天井 3.その他
その他の建設資材について
(利用用途を具体的に記入して下さい)

コード*7
コンクリートについて
1.再生生コン(Co再生骨材H) 2.再生生コン(Co再生骨材M) 3.再生生コン(Co再生骨材L) 4.再生生コン(その他再生材) 5.無筋コンクリート二次製品(リユース品) 6.再生無筋コンクリート二次製品(Co再生骨材) 7.再生無筋コンクリート二次製品(その他再生材) 8.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品(リユース品) 2.再生有筋コンクリート二次製品(Co再生骨材) 3.再生有筋コンクリート二次製品(その他再生材) 4.その他
木材について
1.再生木材(ボード類を除く) 2.再生木質ボード
アスファルト・コンクリートについて
1.再生粗粒度アスコン 2.再生密粒度アスコン 3.再生細粒度アスコン 4.再生開粒度アスコン 5.再生改質アスコン 6.再生アスファルトモルタル 7.再生加熱アスファルト安定処理路盤材 8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土 4.第四種建設発生土 5.浚渫土以外の泥土 6.浚渫土 7.土質改良土 8.建設汚泥処理土 9.再生コンクリート砂
砕石について
1.再生クラッシャーラン 2.再生粒度調整砕石 3.鉱さい 4.その他
塩化ビニル管・継手について
1.再生硬質塩化ビニル管 2.その他
その他の建設資材について
(利用量の多い上位2品目の再生資材名称を具体的に記入して下さい)

コード*8
再生資材の供給元について
1.現場内利用 2.他の工事現場(内陸) 3.他の工事現場(海面) 4.再資源化施設 5.土砂ストックヤード 6.その他

コード*9
施工条件について
1.再生材の利用の指示あり 2.再生材の利用の指示なし

様式2 再生資源利用促進実施書 ー建設副産物搬出工事用ー

3枚目

1.工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

2.建設副産物搬出実施

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第三位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用促進率 ②+③+⑤ ① (%)	
		現場内利用		減量化		搬出先名称		区分	施工条件の内容 コード*12	搬出先場所住所		搬出先の種類 コード*13	④現場外搬出量		⑤再生資源利用促進量		
		用途 コード*10	②利用量 小数点第三位まで	うち現場内改良分 小数点第三位まで	減量法 コード*11	③減量化量 小数点第三位まで	2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。			住所コード*4	運搬距離 千 百 十		④現場外搬出量 小数点第三位まで	うち現場内改良分 小数点第三位まで			
資材廃棄物 特定建設	コンクリート塊	トン	トン	トン		搬出先1					km		トン	トン	トン	%	
	建設発生木材A (注:ボードなど木製資材が廃棄物となったもの)	トン	トン	トン		搬出先1					km		トン		トン	%	
	アスファルト・コンクリート塊	トン	トン	トン		搬出先1					km		トン	トン	トン	%	
	その他がれき類	トン				搬出先1					km		トン		トン	%	
建設廃棄物	建設発生木材B (立木、除根材などが廃棄物となったもの)	トン	トン	トン		搬出先1					km		トン		トン	%	
	建設汚泥	トン	トン	トン	トン	搬出先1					km		トン	トン	トン	%	
	金属くず	トン				搬出先1					km		トン		トン	%	
	廃塩化ビニル管・継手	トン				搬出先1					km		トン		トン	%	
	廃プラスチック (廃塩化ビニル管・継手を除く)	トン				搬出先1					km		トン		トン	%	
	廃石膏ボード	トン				搬出先1					km		トン		トン	%	
	紙くず	トン				搬出先1					km		トン		トン	%	
	アスベスト (飛散性)	トン				搬出先1					km		トン		トン	%	
	その他の分別された廃棄物	トン				搬出先1					km		トン		トン	%	
	混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	トン				搬出先1					km		トン		トン	%	
	建設発生土	第一種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
		第二種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
第三種 建設発生土		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
第四種 建設発生土		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
浚渫土以外の泥土		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
浚渫土 (建設汚泥を除く)		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
合計		地山m ³	地山m ³	地山m ³							km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	

コード*10
1.路盤材 2.裏込材
3.埋戻し材 4.その他

コード*11
1.焼却 2.脱水
3.天日乾燥 4.その他

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード*13
建設廃棄物の場合
1.売却
2.他の工事現場
3.広域認定制度による処理
4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)
5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)
6.中間処理施設(サーマルサイクル)
7.中間処理施設(単純焼却)
8.廃棄物最終処分場(海面処分場)
9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)

建設発生土の場合
1.売却
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
ただし、廃棄物最終処分場を除く
4.土質改良プラント
5.工事予定地・仮置場・ストックヤード
(再利用の目的がある場合)
6.工事予定地・仮置場・ストックヤード
(再利用の目的がない場合)
7.採石場・砂利採取跡地等復旧事業
8.廃棄物最終処分場(覆土としての受入)
9.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入)
10.土捨場・残土処分場

注記
・一般廃棄物は記入しないで下さい。
・土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

※ 6.9.10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。

様式1・イ 再生資源利用計画書 ー建設資材搬入工事に用ー「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第11条通知別表」対応版ー

4枚目

2.建設資材利用計画

Main table with columns: 建設資材 (新材料を含む全体の利用状況), 左記のうち、再生資材の利用状況 (再生資材を利用した場合に記入して下さい), 再生資源利用率. Rows include categories like 特定建設資材 (Concrete, Wood, Asphalt) and その他の建設資材 (Sand, Gravel, etc.).

コード*5
コンクリートについて
1.生コン(バージン骨材)
2.再生生コン(Co再生骨材H)
3.再生生コン(Co再生骨材M)
4.再生生コン(Co再生骨材L)
5.再生生コン(その他再生材)
6.無筋コンクリート二次製品(リユース品)
7.無筋コンクリート二次製品(その他再生材)
8.再生無筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)
9.再生無筋コンクリート二次製品(その他再生材)
10.その他

コード*6
アスファルト・コンクリートについて
1.表層 2.基層
3.上層路盤 4.歩道
5.その他(駐車場舗装、敷地内舗装等)
土砂について
1.道路路体 2.路床 3.河川築堤
4.構造物等の裏込材、埋戻し用
5.宅地造成用 6.水面埋立用
7.ほ場整備(農地整備)
8.その他

コード*7
コンクリートについて
1.再生生コン(Co再生骨材H)
2.再生生コン(Co再生骨材M)
3.再生生コン(Co再生骨材L)
4.再生生コン(その他再生材)
5.無筋コンクリート二次製品(リユース品)
6.再生無筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)
7.再生無筋コンクリート二次製品(その他再生材)
8.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品(リユース品)
2.再生有筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)
3.再生有筋コンクリート二次製品(その他再生材)
4.その他

コード*8
再生資材の供給元について
1.現場内利用
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
4.再資源化施設
5.土砂ストックヤード
6.その他

コード*9
施工条件について
1.再生材の利用の指示あり
2.再生材の利用の指示なし

4枚目

1.工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

2.建設副産物搬出計画

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第三位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用促進率 ②+③+⑤ ① (%)	
		現場内利用		減量化		搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。		区分	施工条件の内容 コード*12	搬出先場所住所		搬出先の種類 コード*13	④現場外搬出量		⑤再生資源利用促進量		
		用途コード*10	②利用量 小数点第三位まで	③減量化 コード*11	④減量化量 小数点第三位まで	うち現場内改良分	⑤再生資源利用促進量			住所コード*4	運搬距離 千 百 十		④現場外搬出量 小数点第三位まで	うち現場内改良分 小数点第三位まで			
資材廃棄物 特定建設	コンクリート塊	トン	トン	トン		搬出先1					km		トン	トン	トン	%	
	建設発生木材A (柱、ボードなど木製資材が廃棄物となったもの)	トン	トン	トン		搬出先1					km		トン		トン	%	
	アスファルト・コンクリート塊	トン	トン	トン		搬出先1					km		トン	トン	トン	%	
	その他がれき類	トン				搬出先1					km		トン		トン	%	
建設廃棄物	建設発生木材B (立木、除根材などが廃棄物となったもの)	トン	トン	トン		搬出先1					km		トン		トン	%	
	建設汚泥	トン	トン	トン	トン	搬出先1					km		トン	トン	トン	%	
	金属くず	トン				搬出先1					km		トン		トン	%	
	廃塩化ビニル管・継手	トン				搬出先1					km		トン		トン	%	
	廃プラスチック (廃塩化ビニル管・継手を除く)	トン				搬出先1					km		トン		トン	%	
	廃石膏ボード	トン				搬出先1					km		トン		トン	%	
	紙くず	トン				搬出先1					km		トン		トン	%	
	アスベスト (飛散性)	トン				搬出先1					km		トン		トン	%	
	その他の分別された廃棄物	トン				搬出先1					km		トン		トン	%	
	混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	トン				搬出先1					km		トン		トン	%	
	建設発生土	第一種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
		第二種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
第三種建設発生土		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
第四種建設発生土		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
浚渫土以外の泥土		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
浚渫土 (建設汚泥を除く)		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
合計		地山m ³	地山m ³	地山m ³									地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	

コード*10
1.路盤材 2.裏込材
3.埋戻し材 4.その他

コード*11
1.焼却 2.脱水
3.天日乾燥 4.その他

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード*13
建設廃棄物の場合
1.売却
2.他の工事現場
3.広域認定制度による処理
4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)
5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)
6.中間処理施設(サーマルサイクル)
7.中間処理施設(単純焼却)
8.廃棄物最終処分場(海面処分場)
9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)

建設発生土の場合
1.売却
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
ただし、廃棄物最終処分場を除く
4.土質改良プラント
5.工事予定地・仮置場・ストックヤード
(再利用の目的がある場合)
6.工事予定地・仮置場・ストックヤード
(再利用の目的がない場合)
7.採石場・砂利採取跡地等復旧事業
8.廃棄物最終処分場(覆土としての受入)
9.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入)
10.土捨場・残土処分場

注記
・一般廃棄物は記入しないで下さい。
・土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

※ 6.9.10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。

様式1 再生資源利用実施書 ー建設資材搬入工事用ー「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第18条再資源化報告」対応版ー

4枚目

2.建設資材利用実施

建設資材 (新材を含む全体の利用状況)					左記のうち、再生資材の利用状況 (再生資材を利用した場合に記入して下さい)					再生資源	
分類	小分類	規格	主な利用用途	利用量(A)	再生資材の名称	再生資材利用量(B)	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元種類	施工条件内容	再生資材の供給元場所住所	利用率
	コード*5		コード*6	小数点第三位まで	コード*7	小数点第三位まで		コード*8	コード*9	住所コード*4	B/A×100
特定建設資材	コンクリート			トン		トン					0%
				トン		トン					0%
		合計		トン		トン					%
	コンクリート及び鉄から成る建設資材			トン		トン					0%
				トン		トン					0%
		合計		トン		トン					%
	木材			トン		トン					0%
				トン		トン					0%
		合計		トン		トン					%
	アスファルト・コンクリート			トン		トン					0%
			トン		トン					0%	
	合計		トン		トン					%	
その他の建設資材	土砂			締めm ³		締めm ³					0%
				締めm ³		締めm ³					0%
		合計		締めm ³		締めm ³					%
	砕石			m ³		m ³					0%
				m ³		m ³					0%
		合計		m ³		m ³					%
	塩化ビニル管・継手			トン		トン					0%
				トン		トン					0%
		合計		トン		トン					%
	石膏ボード			トン		トン					0%
			トン		トン					0%	
	合計		トン		トン					%	
その他の建設資材			トン		トン					0%	
			トン		トン					0%	
	合計		トン		トン					%	

- コード*5
コンクリートについて
1.生コン(バージン骨材) 2.再生生コン(Co再生骨材H) 3.再生生コン(Co再生骨材M) 4.再生生コン(Co再生骨材L) 5.再生生コン(その他再生材) 6.無筋コンクリート二次製品(バージン骨材) 7.無筋コンクリート二次製品(リユース品) 8.再生無筋コンクリート二次製品(Co再生骨材) 9.再生無筋コンクリート二次製品(その他再生材) 10.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品(バージン骨材) 2.有筋コンクリート二次製品(リユース品) 3.再生有筋コンクリート二次製品(Co再生骨材) 4.再生有筋コンクリート二次製品(その他再生材) 5.その他
木材について
1.木材(ボード類を除く) 2.木質ボード
アスファルト・コンクリートについて
1.粗粒度アスコン 2.密粒度アスコン 3.細粒度アスコン 4.開粒度アスコン 5.改質アスコン 6.アスファルトモルタル 7.加熱アスファルト安定処理路盤材 8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土 4.第四種建設発生土 5.浚渫土以外の泥土 6.浚渫土 7.土質改良土 8.建設汚泥処理土 9.再生コンクリート砂 10.山砂、山土などの新材(採取土、購入土)
砕石について
1.クラッシャーラン 2.粒度調整砕石 3.鉱さい 4.単粒度砕石 5.ぐり石、割ぐり石、自然石 6.その他
塩化ビニル管・継手について
1.硬質塩化ビニル管 2.その他
石膏ボードについて
1.石膏ボード 2.シーリング石膏ボード 3.強化石膏ボード 4.化粧石膏ボード 5.石膏ラスボード 6.その他
その他の建設資材について
(利用量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい)

- コード*6
アスファルト・コンクリートについて
1.表層 2.基層 3.上層路盤 4.歩道 5.その他(駐車場舗装、敷地内舗装等)
土砂について
1.道路路体 2.路床 3.河川築堤 4.構造物等の裏込材、埋戻し用 5.宅地造成用 6.水面埋立用 7.ほ場整備(農地整備) 8.その他
砕石について
1.舗装の下層路盤材 2.舗装の上層路盤材 3.構造物の裏込材、基礎材 4.その他
塩化ビニル管・継手について
1.水道(配水)用 2.下水道用 3.ケブル用 4.農業用 5.設備用 6.その他
石膏ボードについて
1.壁 2.天井 3.その他
その他の建設資材について
(利用用途を具体的に記入して下さい)

- コード*7
コンクリートについて
1.再生生コン(Co再生骨材H) 2.再生生コン(Co再生骨材M) 3.再生生コン(Co再生骨材L) 4.再生生コン(その他再生材) 5.無筋コンクリート二次製品(リユース品) 6.再生無筋コンクリート二次製品(Co再生骨材) 7.再生無筋コンクリート二次製品(その他再生材) 8.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品(リユース品) 2.再生有筋コンクリート二次製品(Co再生骨材) 3.再生有筋コンクリート二次製品(その他再生材) 4.その他
木材について
1.再生木材(ボード類を除く) 2.再生木質ボード
アスファルト・コンクリートについて
1.再生粗粒度アスコン 2.再生密粒度アスコン 3.再生細粒度アスコン 4.再生開粒度アスコン 5.再生改質アスコン 6.再生アスファルトモルタル 7.再生加熱アスファルト安定処理路盤材 8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土 4.第四種建設発生土 5.浚渫土以外の泥土 6.浚渫土 7.土質改良土 8.建設汚泥処理土 9.再生コンクリート砂
砕石について
1.再生クラッシャーラン 2.再生粒度調整砕石 3.鉱さい 4.その他
塩化ビニル管・継手について
1.再生硬質塩化ビニル管 2.その他
その他の建設資材について
(利用量の多い上位2品目の再生資材名称を具体的に記入して下さい)

- コード*8
再生資材の供給元について
1.現場内利用 2.他の工事現場(内陸) 3.他の工事現場(海面) 4.再資源化施設 5.土砂ストックヤード 6.その他

- コード*9
施工条件について
1.再生材の利用の指示あり 2.再生材の利用の指示なし

様式2 再生資源利用促進実施書 ー建設副産物搬出工事用ー

4枚目

1.工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

2.建設副産物搬出実施

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第三位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用促進率 ②+③+⑤ ① (%)
		現場内利用		減量化		搬出先名称		区分	施工条件の内容 コード*12	搬出先場所住所		搬出先の種類 コード*13	④現場外搬出量		⑤再生資源利用促進量	
		用途 コード*10	②利用量 小数点第三位まで	③減量化 コード*11	④減量化量 小数点第三位まで	2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。	住所コード*4			運搬距離 千 百 十	④現場外搬出量 小数点第三位まで		うち現場内改良分 小数点第三位まで			
資材廃棄物 特定建設	コンクリート塊	トン	トン	トン		搬出先1					km	トン	トン	トン	%	
	建設発生木材A (注:ボードなど木製資材が廃棄物となったもの)	トン	トン	トン		搬出先1					km	トン		トン	%	
	アスファルト・コンクリート塊	トン	トン	トン		搬出先1					km	トン	トン	トン	%	
	その他がれき類	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
建設廃棄物	建設発生木材B (立木、除根材などが廃棄物となったもの)	トン	トン	トン		搬出先1					km	トン		トン	%	
	建設汚泥	トン	トン	トン	トン	搬出先1					km	トン	トン	トン	%	
	金属くず	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	廃塩化ビニル管・継手	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	廃プラスチック (廃塩化ビニル管・継手を除く)	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	廃石膏ボード	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	紙くず	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	アスベスト (飛散性)	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	その他の分別された廃棄物	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	建設発生土	第一種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
		第二種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
第三種建設発生土		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
第四種建設発生土		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
浚渫土以外の泥土		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
浚渫土 (建設汚泥を除く)		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
合計		地山m ³	地山m ³	地山m ³							km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	

コード*10
1.路盤材 2.裏込材
3.埋戻し材 4.その他

コード*11
1.焼却 2.脱水
3.天日乾燥 4.その他

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード*13
建設廃棄物の場合
1.売却
2.他の工事現場
3.広域認定制度による処理
4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)
5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)
6.中間処理施設(サーマルリサイクル)
7.中間処理施設(単純焼却)
8.廃棄物最終処分場(海面処分場)
9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)

建設発生土の場合
1.売却
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
ただし、廃棄物最終処分場を除く
4.土質改良プラント
5.工事予定地・仮置場・ストックヤード
(再利用の目的がある場合)
6.工事予定地・仮置場・ストックヤード
(再利用の目的がない場合)
7.採石場・砂利採取跡地等復旧事業
8.廃棄物最終処分場(覆土としての受入)
9.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入)
10.土捨場・残土処分場

注記
・一般廃棄物は記入しないで下さい。
・土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

※ 6.9.10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。

様式1・イ 再生資源利用計画書 ー建設資材搬入工事用ー「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第11条通知別表」対応版ー

5枚目

2.建設資材利用計画

建設資材 (新材を含む全体の利用状況)					左記のうち、再生資材の利用状況 (再生資材を利用した場合に記入して下さい)					再生資源	
分類	小分類 コード*5	規格	主な利用用途 コード*6	利用量(A) 小数点第三位まで	再生資材の名称 コード*7	再生資材利用量(B) 小数点第三位まで	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元 種類 コード*8	施工条件 内容 コード*9	再生資材の供給元場所住所 「住前」コード*4	利用率 B/A×100
特定建設資材	コンクリート			トン		トン					0 %
		合計		トン		トン					0 %
	コンクリート及び鉄から成る建設資材			トン		トン					0 %
		合計		トン		トン					0 %
	木材			トン		トン					0 %
		合計		トン		トン					0 %
その他の建設資材	アスファルト・コンクリート			トン		トン					0 %
		合計		トン		トン					0 %
	土砂			締めm ³		締めm ³					0 %
		合計		締めm ³		締めm ³					0 %
	碎石			m ³		m ³					0 %
		合計		m ³		m ³					0 %
その他の建設資材	塩化ビニル管・継手			トン		トン					0 %
		合計		トン		トン					0 %
	石膏ボード			トン		トン					0 %
		合計		トン		トン					0 %
	その他の建設資材			トン		トン					0 %
		合計		トン		トン					0 %

コード*5
コンクリートについて
1.生コン(バージン骨材) 2.再生生コン(Co再生骨材H) 3.再生生コン(Co再生骨材M) 4.再生生コン(Co再生骨材L) 5.再生生コン(その他再生材) 6.無筋コンクリート二次製品(リユース品) 7.無筋コンクリート二次製品(その他再生材) 8.再生無筋コンクリート二次製品(Co再生骨材) 9.再生無筋コンクリート二次製品(その他再生材) 10.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品(バージン骨材) 2.有筋コンクリート二次製品(リユース品) 3.再生有筋コンクリート二次製品(Co再生骨材) 4.再生有筋コンクリート二次製品(その他再生材) 5.その他
木材について
1.木材(ボード類を除く) 2.木質ボード
アスファルト・コンクリートについて
1.粗粒度アスコン 2.密粒度アスコン 3.細粒度アスコン 4.開粒度アスコン 5.改質アスコン 6.アスファルトモルタル 7.加熱アスファルト安定処理路盤材 8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土 4.第四種建設発生土 5.浚渫土以外の泥土 6.浚渫土 7.土質改良土 8.建設汚泥処理土 9.再生コンクリート砂 10.山砂、山土などの新材(採取土、購入土)
碎石について
1.クラッシャーラン 2.粒度調整碎石 3.鉱さい 4.単粒度碎石 5.ぐり石、割ぐり石、自然石 6.その他
塩化ビニル管・継手について
1.硬質塩化ビニル管 2.その他
石膏ボードについて
1.石膏ボード 2.シーリング石膏ボード 3.強化石膏ボード 4.化粧石膏ボード 5.石膏ラスボード 6.その他
その他の建設資材について
(利用量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい)

コード*6
アスファルト・コンクリートについて
1.表層 2.基層 3.上層路盤 4.歩道 5.その他(駐車場舗装、敷地内舗装等)
土砂について
1.道路路体 2.路床 3.河川築堤 4.構造物等の裏込材、埋戻し用 5.宅地造成用 6.水面埋立用 7.ほ場整備(農地整備) 8.その他
碎石について
1.舗装の下層路盤材 2.舗装の上層路盤材 3.構造物の裏込材、基礎材 4.その他
塩化ビニル管・継手について
1.水道(配水)用 2.下水道用 3.ケブル用 4.農業用 5.設備用 6.その他
石膏ボードについて
1.壁 2.天井 3.その他
その他の建設資材について
(利用用途を具体的に記入して下さい)

コード*7
コンクリートについて
1.再生生コン(Co再生骨材H) 2.再生生コン(Co再生骨材M) 3.再生生コン(Co再生骨材L) 4.再生生コン(その他再生材) 5.無筋コンクリート二次製品(リユース品) 6.再生無筋コンクリート二次製品(Co再生骨材) 7.再生無筋コンクリート二次製品(その他再生材) 8.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品(リユース品) 2.再生有筋コンクリート二次製品(Co再生骨材) 3.再生有筋コンクリート二次製品(その他再生材) 4.その他
木材について
1.再生木材(ボード類を除く) 2.再生木質ボード
アスファルト・コンクリートについて
1.再生粗粒度アスコン 2.再生密粒度アスコン 3.再生細粒度アスコン 4.再生開粒度アスコン 5.再生改質アスコン 6.再生アスファルトモルタル 7.再生加熱アスファルト安定処理路盤材 8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土 4.第四種建設発生土 5.浚渫土以外の泥土 6.浚渫土 7.土質改良土 8.建設汚泥処理土 9.再生コンクリート砂
碎石について
1.再生クラッシャーラン 2.再生粒度調整碎石 3.鉱さい 4.その他
塩化ビニル管・継手について
1.再生硬質塩化ビニル管 2.その他
その他の建設資材について
(利用量の多い上位2品目の再生資材名称を具体的に記入して下さい)

コード*8
再生資材の供給元について
1.現場内利用 2.他の工事現場(内陸) 3.他の工事現場(海面) 4.再資源化施設 5.土砂ストックヤード 6.その他

コード*9
施工条件について
1.再生材の利用の指示あり 2.再生材の利用の指示なし

5枚目

1.工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

2.建設副産物搬出計画

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第三位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用促進率 ②+③+⑤ ① (%)
		現場内利用		減量化		搬出先名称		区分	施工条件の内容 コード*12	搬出先場所住所		搬出先の種類 コード*13	④現場外搬出量		⑤再生資源利用促進量	
		用途コード*10	②利用量 小数点第三位まで	③うち現場内改良分 小数点第三位まで	減量法コード*11	③減量化量 小数点第三位まで	2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。			住所コード*4	運搬距離 千 百 十		④現場外搬出量 小数点第三位まで	うち現場内改良分 小数点第三位まで		
資材廃棄物 特定建設	コンクリート塊	トン	トン	トン		搬出先1					km	トン	トン	トン	%	
	建設発生木材A (柱、ボードなど木製資材が廃棄物となったもの)	トン	トン	トン		搬出先1					km	トン	トン	トン	%	
	アスファルト・コンクリート塊	トン	トン	トン		搬出先1					km	トン	トン	トン	%	
	その他がれき類	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
建設廃棄物	建設発生木材B (立木、除根材などが廃棄物となったもの)	トン	トン	トン		搬出先1					km	トン		トン	%	
	建設汚泥	トン	トン	トン	トン	搬出先1					km	トン	トン	トン	%	
	金属くず	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	廃塩化ビニル管・継手	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	廃プラスチック (廃塩化ビニル管・継手を除く)	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	廃石膏ボード	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	紙くず	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	アスベスト (飛散性)	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	その他の分別された廃棄物	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	建設発生土	第一種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
		第二種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
第三種建設発生土		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
第四種建設発生土		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
浚渫土以外の泥土		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
浚渫土 (建設汚泥を除く)		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
合計		地山m ³	地山m ³	地山m ³							km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	

コード*10
1.路盤材 2.裏込材
3.埋戻し材 4.その他

コード*11
1.焼却 2.脱水
3.天日乾燥 4.その他

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード*13
建設廃棄物の場合
1.売却
2.他の工事現場
3.広域認定制度による処理
4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)
5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)
6.中間処理施設(サーマルサイクル)
7.中間処理施設(単純焼却)
8.廃棄物最終処分場(海面処分場)
9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)

建設発生土の場合
1.売却
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
ただし、廃棄物最終処分場を除く
4.土質改良プラント
5.工事予定地・仮置場・ストックヤード
(再利用の目的がある場合)
6.工事予定地・仮置場・ストックヤード
(再利用の目的がない場合)
7.採石場・砂利採取跡地等復旧事業
8.廃棄物最終処分場(覆土としての受入)
9.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入)
10.土捨場・残土処分場

注記
・一般廃棄物は記入しないで下さい。
・土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

※ 6.9.10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。

様式1 再生資源利用実施書 ー建設資材搬入工事用ー「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第18条再資源化報告」対応版ー

5枚目

2.建設資材利用実施

Main table with columns: 建設資材 (新材を含む全体の利用状況), 左記のうち、再生資材の利用状況 (再生資材を利用した場合に記入して下さい), 再生資源利用率. Rows include categories like 特定建設資材 (Concrete, Wood, Asphalt) and その他の建設資材 (Sand, Gravel, etc.).

- コード*5
コンクリートについて
1.生コン(バージン骨材)
2.再生生コン(Co再生骨材H)
3.再生生コン(Co再生骨材M)
4.再生生コン(Co再生骨材L)
5.再生生コン(その他再生材)
6.無筋コンクリート二次製品(リユース品)
7.無筋コンクリート二次製品(その他再生材)
8.再生無筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)
9.再生無筋コンクリート二次製品(その他再生材)
10.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品(バージン骨材)
2.有筋コンクリート二次製品(リユース品)
3.再生有筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)
4.再生有筋コンクリート二次製品(その他再生材)
5.その他
木材について
1.木材(ボード類を除く)
2.木質ボード
アスファルト・コンクリートについて
1.粗粒度アスコン
2.密粒度アスコン
3.細粒度アスコン
4.開粒度アスコン
5.改質アスコン
6.アスファルトモルタル
7.加熱アスファルト安定処理路盤材
8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土
2.第二種建設発生土
3.第三種建設発生土
4.第四種建設発生土
5.浚渫土以外の泥土
6.浚渫土
7.土質改良土
8.建設汚泥処理土
9.再生コンクリート砂
10.山砂、山土などの新材(採取土、購入土)
砕石について
1.クラッシャーラン
2.粒度調整砕石
3.鉱さい
4.単粒度砕石
5.ぐり石、割ぐり石、自然石
6.その他
塩化ビニル管・継手について
1.硬質塩化ビニル管
2.その他
石膏ボードについて
1.石膏ボード
2.シーリング石膏ボード
3.強化石膏ボード
4.化粧石膏ボード
5.石膏ラスボード
6.その他
その他の建設資材について
(利用量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい)

- コード*6
アスファルト・コンクリートについて
1.表層
2.基層
3.上層路盤
4.歩道
5.その他(駐車場舗装、敷地内舗装等)
土砂について
1.道路路体
2.路床
3.河川築堤
4.構造物等の裏込材、埋戻し用
5.宅地造成用
6.水面埋立用
7.ほ場整備(農地整備)
8.その他
砕石について
1.舗装の下層路盤材
2.舗装の上層路盤材
3.構造物の裏込材、基礎材
4.その他
塩化ビニル管・継手について
1.水道(配水)用
2.下水道用
3.ケブル用
4.農業用
5.設備用
6.その他
石膏ボードについて
1.壁
2.天井
3.その他
その他の建設資材について
(利用用途を具体的に記入して下さい)

- コード*7
コンクリートについて
1.再生生コン(Co再生骨材H)
2.再生生コン(Co再生骨材M)
3.再生生コン(Co再生骨材L)
4.再生生コン(その他再生材)
5.無筋コンクリート二次製品(リユース品)
6.再生無筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)
7.再生無筋コンクリート二次製品(その他再生材)
8.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品(リユース品)
2.再生有筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)
3.再生有筋コンクリート二次製品(その他再生材)
4.その他
木材について
1.再生木材(ボード類を除く)
2.再生木質ボード
アスファルト・コンクリートについて
1.再生粗粒度アスコン
2.再生密粒度アスコン
3.再生細粒度アスコン
4.再生開粒度アスコン
5.再生改質アスコン
6.再生アスファルトモルタル
7.再生加熱アスファルト安定処理路盤材
8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土
2.第二種建設発生土
3.第三種建設発生土
4.第四種建設発生土
5.浚渫土以外の泥土
6.浚渫土
7.土質改良土
8.建設汚泥処理土
9.再生コンクリート砂
砕石について
1.再生クラッシャーラン
2.再生粒度調整砕石
3.鉱さい
4.その他
塩化ビニル管・継手について
1.再生硬質塩化ビニル管
2.その他
その他の建設資材について
(利用量の多い上位2品目の再生資材名称を具体的に記入して下さい)

- コード*8
再生資材の供給元について
1.現場内利用
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
4.再資源化施設
5.土砂ストックヤード
6.その他

- コード*9
施工条件について
1.再生材の利用の指示あり
2.再生材の利用の指示なし

様式2 再生資源利用促進実施書 ー建設副産物搬出工事用ー

5枚目

1.工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

2.建設副産物搬出実施

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第三位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用促進率 ②+③+⑤ ① (%)
		現場内利用		減量化		搬出先名称		区分	施工条件の内容 コード*12	搬出先場所住所		搬出先の種類 コード*13	④現場外搬出量		⑤再生資源利用促進量	
		用途 コード*10	②利用量 小数点第三位まで	③減量化 コード*11	④減量化量 小数点第三位まで	2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。	住所コード*4			運搬距離 千 百 十	④現場外搬出量 小数点第三位まで		うち現場内改良分 小数点第三位まで			
資材廃棄物 特定建設	コンクリート塊	トン	トン	トン		搬出先1					km	トン	トン	トン	%	
	建設発生木材A (注:ボードなど木製資材が廃棄物となったもの)	トン	トン	トン		搬出先1					km	トン	トン	トン	%	
	アスファルト・コンクリート塊	トン	トン	トン		搬出先1					km	トン	トン	トン	%	
	その他がれき類	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
建設廃棄物	建設発生木材B (立木、除根材などが廃棄物となったもの)	トン	トン	トン		搬出先1					km	トン		トン	%	
	建設汚泥	トン	トン	トン	トン	搬出先1					km	トン	トン	トン	%	
	金属くず	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	廃塩化ビニル管・継手	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	廃プラスチック (廃塩化ビニル管・継手を除く)	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	廃石膏ボード	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	紙くず	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	アスベスト (飛散性)	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	その他の分別された廃棄物	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	トン				搬出先1					km	トン		トン	%	
	建設発生土	第一種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
		第二種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
第三種建設発生土		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
第四種建設発生土		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
浚渫土以外の泥土		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
浚渫土 (建設汚泥を除く)		地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1					km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
合計		地山m ³	地山m ³	地山m ³							km	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	

コード*10
1.路盤材 2.裏込材
3.埋戻し材 4.その他

コード*11
1.焼却 2.脱水
3.天日乾燥 4.その他

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード*13
建設廃棄物の場合
1.売却
2.他の工事現場
3.広域認定制度による処理
4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)
5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)
6.中間処理施設(サーマルサイクル)
7.中間処理施設(単純焼却)
8.廃棄物最終処分場(海面処分場)
9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)

建設発生土の場合
1.売却
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
ただし、廃棄物最終処分場を除く
4.土質改良プラント
5.工事予定地・仮置場・ストックヤード
(再利用の目的がある場合)
6.工事予定地・仮置場・ストックヤード
(再利用の目的がない場合)
7.採石場・砂利採取跡地等復旧事業
8.廃棄物最終処分場(覆土としての受入)
9.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入)
10.土捨場・残土処分場

注記
・一般廃棄物は記入しないで下さい。
・土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

※ 6.9.10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。

再生資源利用(促進)計画様式 現場揭示様式 記入時の注意事項と機能について

令和4年度
国土交通省

再生資源利用(促進)計画様式 現場揭示様式記入時の注意事項と付与している機能について説明します。

1工事1ファイルの作成が必要です。複数工事を記入することはできません。

【注意事項】


1. 記載内容について

記載内容は、基本的にシート1~5枚目の「様式1・イ 再生資源利用計画書」及び「様式2・ロ 再生資源利用促進計画書」で記載された内容が転記されます。

ただし「発注者の商号、名称又は氏名」欄については手入力で記載をお願いいたします。

再生資源利用計画書 -現場揭示用-	
1.工事概要	
発注者の商号、 名称又は氏名	

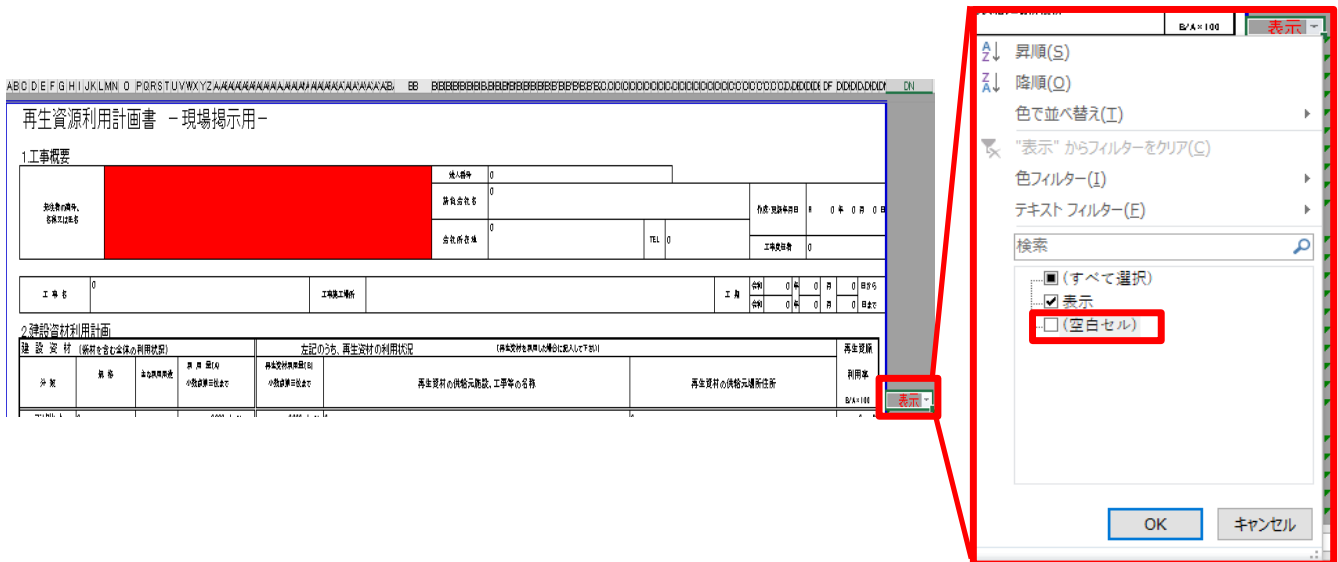
2. 背景の色について

 赤色 . . . 記入必須の項目

赤色が残らないよう作成してください。

3. 出力(印刷)について

出力(印刷)の際にはシート「現場揭示様式」のDN列の「表示」▼をクリックして、「(空白セル)」のチェックを外し、出力をお願いいたします。



The screenshot shows the software interface for the '再生資源利用計画書 -現場揭示用-' form. The form is divided into several sections: '1.工事概要', '2.建設資材利用計画', and '3.再生資源利用計画'. The '1.工事概要' section has a red background for the '発注者の商号、名称又は氏名' field. The '2.建設資材利用計画' section has a table with columns for '建設資材', '再生資源', and '再生資源利用計画'. The '3.再生資源利用計画' section has a table with columns for '再生資源の種類', '再生資源の名称', and '再生資源の規格・標準仕様'. A context menu is open over the '表示' button in the bottom right corner of the form. The menu options are: '昇順(S)', '降順(Q)', '色で並べ替え(I)', '"表示" からフィルターをクリア(C)', '色フィルター(I)', 'テキストフィルター(E)', '検索', and a section for '表示' with options for '(すべて選択)', '表示', and '(空白セル)'. The '(空白セル)' option is checked and highlighted with a red box.

再生資源利用計画書 ー現場揭示用ー

1.工事概要

発注者の商号、 名称又は氏名		法人番号						
		請負会社名						
		会社所在地	TEL					
		作成・更新年月日	令和	年	月	日		
		工事責任者						
工事名	工事施工場所		工期		令和	年	月	日から
				令和				日まで

2.建設資材利用計画

建設資材 (新材を含む全体の利用状況)				左記のうち、再生資材の利用状況			
分類	規格	主な利用用途	利用量(A) 小数点第三位まで	再生資材利用量 (B) 小数点第三位まで	再生資材の供給元施設、工事等の名称	再生資材の供給元場所住所	再生資源 利用率 (B)/(A)×100
コンクリート			トン	トン			%
			トン	トン			%
			トン	トン			%
			トン	トン			%
			トン	トン			%
			トン	トン			%
			トン	トン			%
			トン	トン			%
			トン	トン			%
			トン	トン			%
合計			0.000	0.000			0 %
コンクリート及び 鉄から成る建設資材			トン	トン			%
			トン	トン			%
			トン	トン			%
			トン	トン			%
			トン	トン			%
			トン	トン			%
			トン	トン			%
			トン	トン			%
			トン	トン			%
			トン	トン			%
合計			0.000	0.000			0 %
アスファルト・ コンクリート			トン	トン			%
			トン	トン			%
			トン	トン			%
			トン	トン			%
			トン	トン			%
			トン	トン			%
			トン	トン			%
			トン	トン			%
			トン	トン			%
			トン	トン			%
合計			0.000	0.000			0 %
土砂			締めm ³	締めm ³			%
			締めm ³	締めm ³			%
			締めm ³	締めm ³			%
			締めm ³	締めm ³			%
			締めm ³	締めm ³			%
			締めm ³	締めm ³			%
			締めm ³	締めm ³			%
			締めm ³	締めm ³			%
			締めm ³	締めm ³			%
			締めm ³	締めm ³			%
合計			0.000	0.000			0 %
碎石			m ³	m ³			%
			m ³	m ³			%
			m ³	m ³			%
			m ³	m ³			%
			m ³	m ³			%
			m ³	m ³			%
			m ³	m ³			%
			m ³	m ³			%
			m ³	m ³			%
			m ³	m ³			%
合計			0.000	0.000			0 %

再生資源利用促進計画書 ー現場揭示用ー

1.工事概要

発注者の商号、 名称又は氏名		法人番号			作成・更新年月日	令和 年 月 日
		請負会社名			工事責任者	
		会社所在地	TEL			
工事名	工事施工場所		工期	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで		

2.建設副産物搬出計画

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③ 小数点第三位まで	現場内利用		現場外搬出について					再生資源 利用促進率 ②+④ ① (%)	
		②利用量 小数点第三位まで	うち現場内 改良分 小数点第三位まで	搬出先名称	搬出先場所住所	搬出先の種類	③現場外搬出量 小数点第三位まで	うち現場内 改良分 小数点第三位まで		④再生資源 利用促進量
コンクリート塊	0.000 トン	0.000 トン	0.000 トン	搬出先1 搬出先2 搬出先3 搬出先4 搬出先5 搬出先6 搬出先7 搬出先8 搬出先9 搬出先10			トン トン トン トン トン トン トン トン トン トン	トン トン トン トン トン トン トン トン トン トン	0.000 トン	0%
建設発生木材(柱、ホ ードなど木製資材が廃棄 物となったもの)	0.000 トン	0.000 トン	0.000 トン	搬出先1 搬出先2 搬出先3 搬出先4 搬出先5 搬出先6 搬出先7 搬出先8 搬出先9 搬出先10			トン トン トン トン トン トン トン トン トン トン		0.000 トン	0%
建設発生木材(立木、除 根材などが廃棄物となっ たもの)	0.000 トン	0.000 トン	0.000 トン	搬出先1 搬出先2 搬出先3 搬出先4 搬出先5 搬出先6 搬出先7 搬出先8 搬出先9 搬出先10			トン トン トン トン トン トン トン トン トン トン		0.000 トン	0%
アスファルト- コンクリート塊	0.000 トン	0.000 トン	0.000 トン	搬出先1 搬出先2 搬出先3 搬出先4 搬出先5 搬出先6 搬出先7 搬出先8 搬出先9 搬出先10			トン トン トン トン トン トン トン トン トン トン	トン トン トン トン トン トン トン トン トン トン	0.000 トン	0%
第一種 建設発生土	0.000 地山m³	0.000 地山m³	0.000 地山m³	搬出先1 搬出先2 搬出先3 搬出先4 搬出先5 搬出先6 搬出先7 搬出先8 搬出先9 搬出先10			地山m³ 地山m³ 地山m³ 地山m³ 地山m³ 地山m³ 地山m³ 地山m³ 地山m³ 地山m³	地山m³ 地山m³ 地山m³ 地山m³ 地山m³ 地山m³ 地山m³ 地山m³ 地山m³ 地山m³	0.000 地山m³	0%
第二種 建設発生土	0.000 地山m³	0.000 地山m³	0.000 地山m³	搬出先1 搬出先2 搬出先3 搬出先4 搬出先5 搬出先6 搬出先7 搬出先8 搬出先9 搬出先10			地山m³ 地山m³ 地山m³ 地山m³ 地山m³ 地山m³ 地山m³ 地山m³ 地山m³ 地山m³	地山m³ 地山m³ 地山m³ 地山m³ 地山m³ 地山m³ 地山m³ 地山m³ 地山m³ 地山m³	0.000 地山m³	0%

第三種 建設発生土	0.000 地山m ³	0.000 地山m ²	0.000 地山m ³	搬出先1				地山m ³	地山m ³	0.000 地山m ³	0%
				搬出先2				地山m ³	地山m ³		
				搬出先3				地山m ³	地山m ³		
				搬出先4				地山m ³	地山m ³		
				搬出先5				地山m ³	地山m ³		
				搬出先6				地山m ³	地山m ³		
				搬出先7				地山m ³	地山m ³		
				搬出先8				地山m ³	地山m ³		
				搬出先9				地山m ³	地山m ³		
				搬出先10				地山m ³	地山m ³		
第四種 建設発生土	0.000 地山m ³	0.000 地山m ²	0.000 地山m ³	搬出先1				地山m ³	地山m ³	0.000 地山m ³	0%
				搬出先2				地山m ³	地山m ³		
				搬出先3				地山m ³	地山m ³		
				搬出先4				地山m ³	地山m ³		
				搬出先5				地山m ³	地山m ³		
				搬出先6				地山m ³	地山m ³		
				搬出先7				地山m ³	地山m ³		
				搬出先8				地山m ³	地山m ³		
				搬出先9				地山m ³	地山m ³		
				搬出先10				地山m ³	地山m ³		
浚渫土以外の泥土 ※	0.000 地山m ³	0.000 地山m ²	0.000 地山m ³	搬出先1				地山m ³	地山m ³	0.000 地山m ³	0%
				搬出先2				地山m ³	地山m ³		
				搬出先3				地山m ³	地山m ³		
				搬出先4				地山m ³	地山m ³		
				搬出先5				地山m ³	地山m ³		
				搬出先6				地山m ³	地山m ³		
				搬出先7				地山m ³	地山m ³		
				搬出先8				地山m ³	地山m ³		
				搬出先9				地山m ³	地山m ³		
				搬出先10				地山m ³	地山m ³		
浚渫土※ (建設汚泥を除く)	0.000 地山m ³	0.000 地山m ²	0.000 地山m ³	搬出先1				地山m ³	地山m ³	0.000 地山m ³	0%
				搬出先2				地山m ³	地山m ³		
				搬出先3				地山m ³	地山m ³		
				搬出先4				地山m ³	地山m ³		
				搬出先5				地山m ³	地山m ³		
				搬出先6				地山m ³	地山m ³		
				搬出先7				地山m ³	地山m ³		
				搬出先8				地山m ³	地山m ³		
				搬出先9				地山m ³	地山m ³		
				搬出先10				地山m ³	地山m ³		

※ 資料番号は建設1、2、3、4、5、6、7、8、9、10